

平成23年度にかほ市の財務書類
(連結ベース)

【貸借対照表】

| | | | |
|-------------------------------------|----------|----------------------|----------|
| これまで積み上げてきた社会資本 (将来の世代に引き継ぐ社会資本) | | 将来の世代が負担する負債 | |
| 資産 | 1,435 億円 | 負債 | 428 億円 |
| 公共資産 | 1,361 億円 | 固定負債 | 401 億円 |
| 投資等 | 38 億円 | 流動負債 | 27 億円 |
| 流動資産 | 36 億円 | 過去・現代の世代が負担して貯えてきた資産 | |
| (うち資金) | (34億円) | 純資産 | 1,007 億円 |

【行政コスト計算書】

| | | | | |
|---------|------------|--------|-------------------------|--------|
| 性質別 | 経常経費 A | 235 億円 | 経常収益 B (事業に対する受給者負担) | 75 億円 |
| | 人にかかるコスト | 30 億円 | 使用料、手数料 | 2 億円 |
| | 人件費 | 24 億円 | 分担金、負担金、寄附金 | 41 億円 |
| | 退職手当引当金繰入等 | 6 億円 | 保険料、事業収益など | 32 億円 |
| | 物にかかるコスト | 73 億円 | 純経常行政コスト A - B | 160 億円 |
| | 物件費 | 32 億円 | | |
| | 減価償却費等 | 41 億円 | | |
| | 移転支的的なコスト | 120 億円 | | |
| | 社会保障給付費 | 101 億円 | | |
| | 補助金等 | 19 億円 | | |
| その他のコスト | 12 億円 | | | |

目的別

| | | | |
|-------------|--------|------------|----------|
| 経常経費 A | 235 億円 | 【純資産変動計算書】 | |
| 生活インフラ・国土保全 | 26 億円 | 期首純資産残高 | 1,008 億円 |
| 教育 | 16 億円 | 純経常行政コスト | △ 160 億円 |
| 福祉 | 119 億円 | 財源調達 | 158 億円 |
| 環境衛生 | 14 億円 | 一般財源 | 94 億円 |
| 産業振興 | 29 億円 | 地方税 | 29 億円 |
| 消防 | 7 億円 | 地方交付税 | 57 億円 |
| 総務 | 14 億円 | その他 | 8 億円 |
| 議会 | 2 億円 | 補助金等受入 | 64 億円 |
| 支払利息・その他 | 8 億円 | その他 | 1 億円 |
| | | 期末純資産残高 | 1,007 億円 |

【資金収支計算書】

| | | | |
|----------|--------|----------|---------|
| 期首資金残高 | 32 億円 | 投資・財務的収支 | △ 28 億円 |
| 経常的収支 | 39 億円 | 当該年度資金増減 | 2 億円 |
| 公共資産整備収支 | △ 9 億円 | 期末資金残高 | 34 億円 |

第5章

市の財政状況
(財務4表)

地方公共団体の会計は、現金の収入・支出記録に基づいた「現金主義」「単式簿記」を採用してきました。これは現金の動きがわかりやすい一方、資産・財産や負債・財源などが計上されず、行政サービスに要した正確なコストが把握できませんでした。これに対し民間企業では、「発生主義」「複式簿記」による「財務書類」を作成し、財政状態の把握や経営管理への活用、株主等外部への報告を行っています。

国は、地方公共団体における行政改革を推進するために、この財務書類の作成、公会計の整備を地方公共団体に強く要請してきました。本市では、平成19年度決算から普通会計ベース、同20年度分からは特別会計(企業会計を含む)や一部事務組合、第3セクター等を含めた連結ベースの財務書類4表を作成しています。にかほ市ではこの財務書類を分析、限られた行政資源を活用し、効率的で効果的な自治体運営を目指します。

財務書類4表とは？

- 貸借対照表：市が行政サービスを提供するために所有している財産と、その財産をどのような財源(負債・純資産)で賄ってきたかを表示するものです。(バランスシート)
- 行政コスト計算書：当該年度の行政サービスの内、福祉等の給付や人的サービスの形成に資する行政コスト(経費)から、その収益(使用料等の受益者負担)を差し引き、純粋な行政コストを表すものです。
- 純資産変動計算書：貸借対照表の純資産に計上されている各数値が、当該年度でどう変動したかを示します。
- 資金収支計算書：当該年度の現金の流れを示します。(キャッシュフロー)

連結とは？

にかほ市では、普通会計(一般会計)が実施する事業のほかにも、公営企業会計のガス事業や水道事業、特別会計の国保事業や公共下水道事業など、市民生活に密接な関わりを持つ事業を行っています。また市が直接行う事業とは別に、関係団体と連携して行う行政サービスがあります。このため、にかほ市が関わるすべての行政財務情報を表し、分析するために、関連が深い会計・法人を合体させた連結財務書類を作成しています。※各数値は表示単位で調整しています。

市ホームページに普通会計、にかほ市(特別会計、企業会計)連結の財務書類を掲載しています。

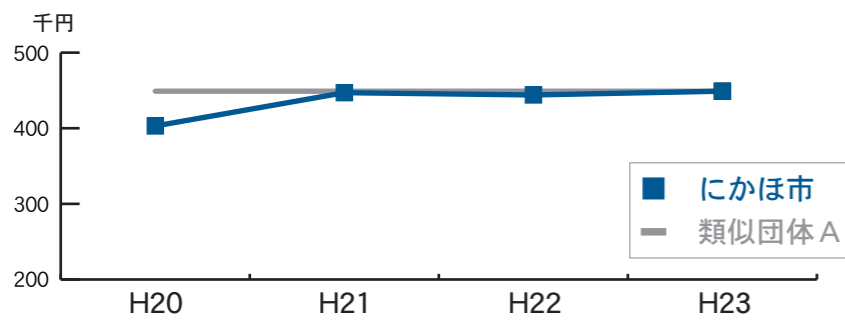
連結の範囲

| | | |
|--|---|--|
| <p>普通会計</p> <p>にかほ市一般会計</p> <p>にかほ市企業会計</p> <p>ガス事業</p> <p>水道事業</p> | <p>にかほ市全体</p> <p>にかほ市特別会計</p> <p>国保事業 事業勘定</p> <p>国保事業 施設勘定</p> <p>簡易水道事業</p> <p>公共下水道事業</p> <p>農業集落排水施設事業</p> | <p>連結</p> <p>本荘由利広域市町村圏組合</p> <p>秋田県後期高齢者医療広域連合</p> <p>秋田県市町村総合事務組合</p> <p>秋田県市町村会館管理組合</p> <p>にかほ市観光開発株式会社</p> |
|--|---|--|

財務書類を活用した分析 (普通会計ベース)

単位：千円

| 区 分 | H 20 | H 21 | H 22 | H 23 | 類似団体A |
|----------|------|------|------|------|-------|
| 人にかかるコスト | 93 | 89 | 88 | 83 | 88 |
| 物にかかるコスト | 147 | 156 | 171 | 178 | 179 |
| 移転支出的コスト | 149 | 188 | 171 | 176 | 173 |
| その他のコスト | 14 | 14 | 14 | 12 | 9 |
| 合 計 | 403 | 447 | 444 | 449 | 449 |



行政コスト

人にかかるコスト…報酬、職員給与、各種手当、退職手当等引当金繰入など。
 物にかかるコスト…委託料、賃金、光熱水費、道路・建物等の維持修繕費、固定資産の減価償却など。
 移転支出的コスト…児童手当や高齢者・障害者への援護措置、生活保護などの社会保障給付、他団体への補助金など。
 その他のコスト…地方債の利息、市税等の徴収不能見込みなど。

【行政コスト計算書】
 経常コスト合計÷人口
**(3) 市民1人あたりの
 経常行政コスト**

資産形成に結びつかない1年間の行政サービスのコストを、1人あたりで表します。

単位：億円、()内%

| 区 分 | H 20 | H 21 | H 22 | H 23 | 類似団体A |
|--------------------------|---------------|---------------|---------------|---------------|---------------|
| 生活インフラ・国土保全 市道、橋、公園など | 294 (31.1) | 295 (30.9) | 296 (31.2) | 296 (31.4) | 236 (45.4) |
| 教育 学校、公民館、体育館など | 220 (23.3) | 235 (24.6) | 233 (24.6) | 234 (24.8) | 139 (26.7) |
| 福祉 福祉施設、老人憩の家など | 15 (1.6) | 14 (1.5) | 14 (1.5) | 13 (1.4) | 20 (3.8) |
| 環境衛生 清掃センターなど | 73 (7.7) | 73 (7.6) | 72 (7.6) | 71 (7.5) | 6 (1.2) |
| 産業振興 市有林、漁港、農林道など | 126 (13.3) | 117 (12.3) | 111 (11.7) | 105 (11.1) | 69 (13.3) |
| 消防 消防庁舎、消防施設など | 12 (1.3) | 16 (1.7) | 17 (1.8) | 20 (2.1) | 7 (1.3) |
| 総務 市役所庁舎など | 206 (21.7) | 205 (21.4) | 205 (21.6) | 204 (21.7) | 43 (8.3) |
| 合 計 | 946 (100) | 955 (100) | 948 (100) | 943 (100) | 520 (100) |

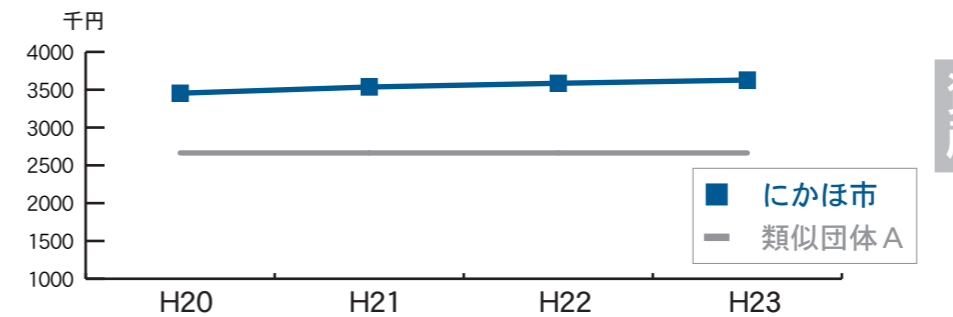
【貸借対照表】
 公共資産の内
 有形固定資産
**(4) 公共資産の
 目的別割合**

分野別の資産形成の比重がわかります。将来の資産整備の方向性を検討することができます。

財務書類を活用した分析 (普通会計ベース)

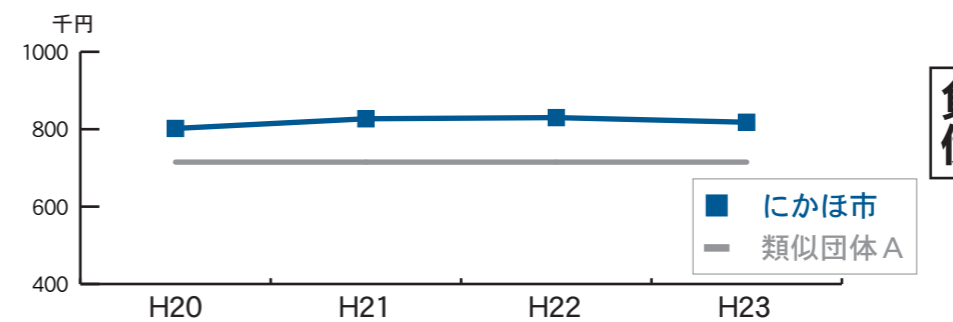
単位：千円

| 区 分 | H 20 | H 21 | H 22 | H 23 | 類似団体A |
|---------|-------|-------|-------|-------|-------|
| 1人あたり資産 | 3,454 | 3,536 | 3,585 | 3,628 | 2,664 |
| 1人あたり負債 | 802 | 827 | 830 | 818 | 715 |



資産に分類されるもの

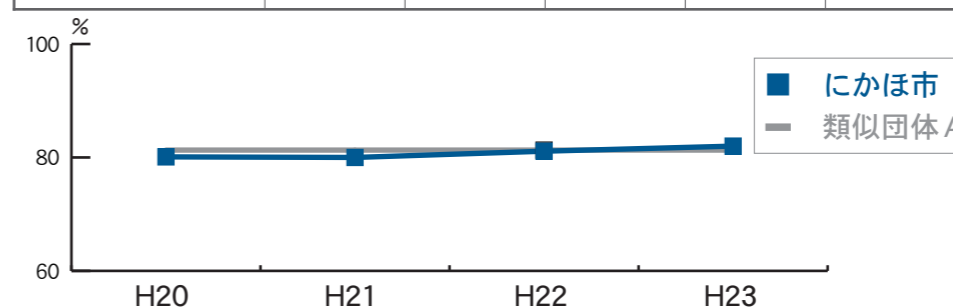
公共資産…長期に保有する有形固定資産と売却可能資産に分類される。
 投資等…各団体への出資や各種制度資金貸付金など。
 流動資産…1年以内に現金化できる資産。



負債に分類されるもの

地方債…建設事業などの資金調達のため、複数年度にわたる債務。
 退職手当引当金…年度末に全職員が退職したと仮定した場合の要支給額

| 区 分 | H 20 | H 21 | H 22 | H 23 | 類似団体A |
|-------------|------|------|------|------|-------|
| 過去・現世代の負担比率 | 80.1 | 80.0 | 81.1 | 82.0 | 81.3 |



【貸借対照表】
 純資産の合計÷
 公共資産の合計
**(2) 社会資本形成の
 世代間負担比率**
 これまでの世代世代が公共資産の形成に負担した割合がわかります。この比率が高いほど、将来世代の負担が低くなります。

◎参考に人口2～3万人の類似団体の数値（平成23年度）を並べて比較表示しています。

【貸借対照表】
 資産（負債）÷人口
**(1) 市民1人あたりの
 資産と負債**

貸借対照表の各項目数値を、市民1人あたりの数値にするこゝとで他団体との単純比較が可能になります。